

# モバイルユニット活用社会実験の企画体制 (みなと協議会 準備会の立上げ)

# 目指す取組・効果

海峡エリアの価値向上・マネジメントを通じて、

- ① 魅力的な緑地が生まれ、市民と来訪者の交流の場となる
- ② どこにもない水際線の利活用が生まれ、ウォーターフロントの顔になる
- ③ 魅力造成と適切な維持管理が両輪で持続することで、ビジョンに合致する新規投資が創出される

効果

魅力的な緑地が生まれ、市民と来訪者の交流の場となる

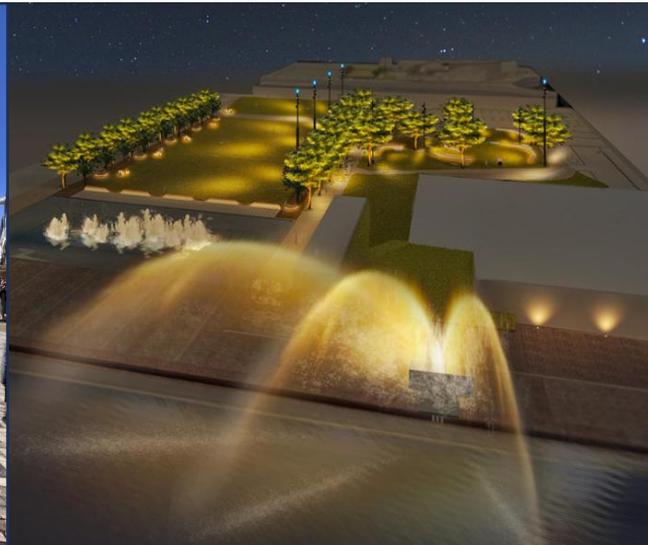


社会実験で生まれた魅力的な活用

活用を後押しする緑地の再整備 3

効果

どこにもない水際線の利活用が生まれ、ウォーターフロントの顔になる



水際の楽しみを演出する様々な仕掛け

ここでしか実現しないユニットや海峡での大噴水

**効果**

魅力造成と適切な維持管理が両輪で持続することで  
ビジョンに合致する新規投資が創出される



A地区事業

唐戸市場

...

エリアのビジョンに合致する新規投資



魅力的なコンテンツ



適切な維持管理



# 将来の水際線の利活用に向けみなと協議会準備会を立ち上げ

名称

みなと協議会準備会

目的

日本を代表するウォーターフロントシティに向け必要な各取組が継続的に実施できる官民の枠組みを創出する

- ・圧倒的な水際線の利活用の実現
- ・関門海峡ならではの景観の実現
- ・海峡エリア内外の事業者連携や官民の連携によるエリア価値向上の活動の継続

構成員

海峡部に直接接する事業主体

※活動エリアの事業主体に参加呼びかけ

エリア

唐戸市場～リゾナーレの海峡部

※将来的には岬之町にも接続することも想定

主な役割

海峡エリアの公共空間の魅力化に向けた官民で企画・実行を主導する

- ・地先事業者による港湾施設の利活用に向けた社会実験の企画・運営
  - ・クルーズ船来訪時や強風時など緊急対応が必要な場合の連絡や対応の全体管理
- その他マスタープランの実現に向けて必要な社会実験等の企画・調整を行う

